

にわかだに
俄谷の砂留
俄谷御趣法砂留
(にわかだにごしゅほうすなどめ)



位置図



◆ 諸元 ◆

河川名：砂防指定地 小田川

場所：広島県福山市山手町

築造年：江戸時代後期

構造：石壁堰堤形式 いしかべえんていけいしき H=8.4m, L=66.0m

目的：土砂流出防止

特徴：市内にある砂留で最も堤長の長い堰堤
全4段の堰堤（1段毎に小段有り）
平面形状
上2段：緩アーチ，下2段：直線

ポイント！

- 砂留築造のための御趣法金（幕府又は藩からの特別交付金のようなもの）によって建設されたためこの名称が付けられています。
- 下流には、緩勾配（31%）の石張り土堰堤形式の砂留（H=10.2m, L=22.5m）があります。また、上流にも未確認の砂留が多数あると言われていています。
- 堆砂敷には『里山里地を守る会』が中心となりボランティアによって伐採等が行われ、炭焼窯やテント張の休憩所等が整備されている。椎茸やカブトムシの育成等、都市住民との交流の場として様々なイベントも企画されている。

★ビューポイント 堰堤上から見下ろすと石積の構造（4段の石積）が明らかとなります！
洪水の度に嵩上げされたものと思われ、当時の村民の苦勞が伺えます。

県道378号御幸松永線より右折
『弘法さん入り口』が目印



道端に石灯籠
弘法さんの参道の様相



にわかやまふどういん
俄山不動院入口を右折

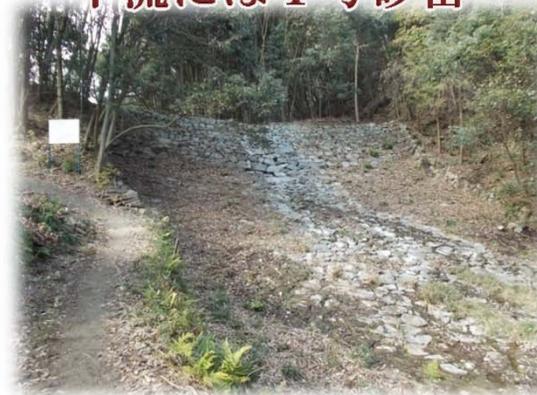


たいしゃじき

堆砂敷には炭焼き窯や
休憩所があり
『里山里地を守る会』の
活動の拠点となっている



下流には1号砂留



伐採木を利用して椎茸の栽培

少し北上すると
俄山弘法大師堂
にわかやまこうぼうたいしどう

